

「憲法9条の碑」除幕

有志建立 平和への思い新た

原

原村の住民有志でつくる「憲法9条を守る原村民の会」の会員をはじめ、制作者・彫刻家八木ヨシオさん＝同建てる会（橘田源一代表）は、3日、多くの賛同、協力を得て、住民など約100人が

の思いを新たにした。

て同村押沢のハン店「ハハケ」の敷地に建立した同碑の除幕式を現地で開いた。中石碑は自然の風合いの八ケ岳安山岩を使用。表面には「N」の思いを新たにした。

「WA-E」とか「ET」とか

「E.P.N.A」の文字が三つ並んで、水色のベースに白い鳩

を周った丸い石をはじめとする
だ。裏面には憲法9条の文を

ルヒアリで詰した。口を
取り付けた。台座を含む高さ

は110万円の募金が集まつた。

陰幕には元社長の清方治三
んも立ち会つた。橋田代表は

一大勢の協力で、傷じい姿の
原村に合った碑ができた。平
成二年八月一〇日

約100人が集い、青空の下で行われた原村「憲法9条の碑」の除幕式



清水さんは「会員の熱い思いが凝縮された碑。世界恒久平和と人類の発展安寧が図らされることを願う」とあいさつ。八木さんは「責任を感じつゝも一緒に活動できて良かつた。平和と福祉関係の拠点であるこの場所に碑が建つことをうれしく思う」と話した。

牛山貴広・村長からのメッセージ、呼び掛け人のあいさつ、インディアンフルートの演奏などもあった。（武井葉子）